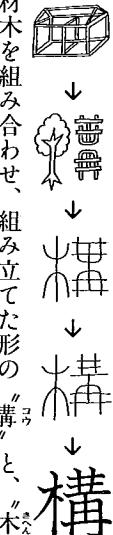


構

五年
画数
14

筆順
木 构 構 構 構 構 構
オン コウ
カマリ える リう

成の立ち



木材を組み合わせ、組み立てた形の「舟」と「木」と

を組み合わせて作った字です。

「木材を『組み立てる』」ことを表した字です。今では「木」に関係なく、「組み立てる」または「組立て」の意味に使われています。**例**構成、構造、構図、構想、機構。『組み立て』のことを「構え」と言いますが、「構える」とか、「構う」という使い方をするようになります。また、「お構いもしませんで」とか、「女の子を構う」とか「構わない構う」という使い方もします。

五年
画数
16
筆順
キ 桐 舟 舟
オン コウ・キヨウ
クン おこらるるす
成り立ち



四つの手の形を表した「興」と、「同」とを組み合わせて作った字です。

「多くの人が心を同じにして、手を働かせる」ことを表した字です。「共同」して一つの仕事に当たることです。そうすれば、かならず成功して、仕事が盛んになりますので、「盛んになる(おこる)」という意味を表します。**例**興隆、興起、興亡、興廢。

「盛んにする(おこす)」という意味に使います。**例**振兴、復興、再興。

また、「気分が高まる」ことから、「おもしろい」という意味にも使われます。**例**感興、興趣、余興。この場合は、吳音でキヨウと発音します。

使い方
△構成 (組み立て。また、組み立てたもの)
△構造 (組み立て。作り)
△構図 (芸術作品などで、配置を考えて決めた図。配置具合)
△構想 (考えを組み立てること。また、その組み立てられた考え方。「雄大な構想を持った小説」などというふうに、つかいます。)
△機構 (機械の構造。「精巧な機構のからくり時計が流行している」などというふうに、つかいます。)
熟語例
△興隆 (物事が盛んになること。)
△興亡 (興ることと亡びること。)
△興廢 (興ることとたれること。)
△振興 (物事を盛んに興すこと。)
△復興 (一度衰えたものが、また盛んになること。)
△再興 (衰えていたものが、また興ること。「お国を再興させた名君」などというふうに、つかいます。)
△感興 (おもしろみ。興がわくこと。)
△興趣 (おもしろみ。おもしろく、趣きがあること。「この一枚の風景画に、何とも言えない興趣を感じた」などというふうに、つかいます。)
△余興 (宴会などでおもしろみをそえるためにする演芸)

△ぼくは機械類を見ると、その構造がどうなっているか知りたくなります。ぼくは大きくなつたら、色々な機構を勉強して機械技師になりたいと思います。
△わたしは、絵を見て歩くのが好きです。絵は一枚一枚、構成が違います。よくこんな構図を思いつけたなと感心する絵もあります。わたしも、何枚か絵を書いていますが、一枚でも、気に入つた絵が書けたらいいな、と思っています。